

ドイツ文学

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	渡邊 徳明 (ドイツ語)

学修目標 (G I O) と 単位数	<p>テーマ： 毒々しい独文学(2単位)</p> <p>ドイツ文学といえば、ゲーテやトーマス・マン、ヘッセなどを思い浮かべるかもしれない。これらの作家は人間の成長や社会の中での役割を問題とした作品を数多く残した。そこには根本的に人間性に対する肯定的な視点がある。</p> <p>けれども、ドイツ文学には同時に別の特徴もある。多分にアイロニカルな(皮肉な)視点が含まれていることである。いや、むしろ「残酷な」と言った方が正確である場合も多い。特にドイツの映画を見ているとそのような場面が多いような印象を受ける。</p> <p>言い換えれば登場人物を突き放して描く手法である。決して心温まる展開にはならないそれらの作品が意外にも人気を博しているのは、そういったものの中に人々が密かに自分の心の中に抱えている闇が表現されているからではないか。</p> <p>心の闇はキリスト教の伝統においては悪魔として表現され、また19世紀末以降にフロイトが開拓した精神分析学の伝統においては無意識における情動として理解された。それらを掘り下げて行くことは人間の醜さを暴いてしまうのかもしれない。と同時に、人間の奥深さを細かに表現することも可能となったのではないか。本授業ではそのような「心の闇」が文学作品の中でどのように表現されているのかについて共に考えてゆきたい。</p>
担当教員	渡邊 徳明
教科書	なし
評価方法 (E V)	定期試験は実施しません。授業での参加状況などによる平常点(40パーセント)、最終レポート(60パーセント)にて評価します。ただしこの比重は目安です。レポートは授業で扱った作品、もしくは担当教員が推薦する授業関連の作品の一つ選択して、それを読んで内容要約と感想・解釈を書いてもらう、というものを想定しています。
学生へのメッセージ オフィスアワー	出席を重視します。文学や歴史についての予備知識は特に求めません。適宜、画像や映像なども取り入れ視覚・聴覚的にヨーロッパ文化に親しんでもらえればと思います。またこの授業を通じて、一冊で良いですから気に入った文学作品を見つけてもらえればと思います。知識の習得よりも、文学作品をどのように鑑賞するか、という方法・態度をみんなで考えてゆく、という授業にしたいと思います。なお、授業前にシラバスをよく読んでおいてください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/10 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2018/04/10 (火) 1時限 09:00~10:30 B	語り手の視点の多重性・多面性	<p>【授業の一般目標】 ドイツ文学のスパイスとも言えるアイロニカルな視点について理解する。感情移入しながら作品を読む姿勢に対し、登場人物と距離を置くのがアイロニカルな視点である。人物や世界、あるいは自分自身を客観視する行為を繰り返す時、多重的、多面的な反省が繰り返される。そこに、近代文学的な人物・世界の立体性が生まれてくる。文学用語で「積分する」という表現があるのだが、そのようなイメージを解説したい。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/04/17 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2018/04/17 (火) 1時限 09:00~10:30 B	グリム・メルヘンの嗜虐的描写	<p>【授業の一般目標】 いわゆる童話として知られるグリム・メルヘンであるが、随分と残酷な描写も少なくない。それをどのように理解すべきなのであるか。たしかに子どものための物語、と位置付けることは可能なのだが、子供の世界はときに理知的な穏やかさを欠いて、不条理とも言える本能的な欲望と残酷さが顔をのぞかせるのかもしれない。つまり、それは大人の世界の原初的で生の姿だとも言えるのではないか……。ただ、大人はそれを理性の衣で覆い隠しているだけなのだ、とも。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 配布物に目を通してくる(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p>	渡邊 徳明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/17 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/04/17 (火) 1時限 09:00～10:30 B	グリム・メルヘンの嗜虐的描写	【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/04/24 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/04/24 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ヨーロッパ中世における悪魔の表象	【授業の一般目標】 キリスト教がヨーロッパに根付いてゆく過程で、その教えに逸脱する存在は悪魔としてイメージ化されてゆく。それは宗教的教義のみではカバーできぬ心の闇を可視化する存在でもあろう。メルヘンの世界に垣間見られた人間の心の闇を、もしもフィギュア化したら、そのような悪魔になってゆくのだろう。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/05/01 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/05/01 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ハルトマン・フォン・アウエ『グレゴリウス』	【授業の一般目標】 13世紀に書かれた叙事詩で、親子二代にわたる罪深き所業を知らず知らずにして、その罪を背負わねばならない主人公が恩寵により救済される物語。『オディップス王』にも似た悲劇の構造であり、本講義でやがて触れるフロイトの「エディプス・コンプレックス」の考え方を理解する準備にもなる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/05/08 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/05/08 (火) 1時限 09:00～10:30 B	フロイトの思想と愛の問題	【授業の一般目標】 人間の成長の過程で表れる様々なひずみの元には、性的な欲望が抑圧されている構図が常に隠れていると考えたフロイトの思想は、20世紀の文学解釈に大きな影響を与えた。「毒々しいドイツ文学」における、その毒々しさを考える上で、フロイトの思想は非常に示唆的である。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/05/15 (火)	『吸血鬼ノスフェ』	【授業の一般目標】	渡邊 徳明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30 A 2018/05/15 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ラートゥ』	ドイツ無声映画の傑作。いわゆるドラキュラ伯爵。ホラーの先駆的作品だが、初期の映画の素朴さと、表現主義的人物描写・世界観に裏打ちされた芸術性の高さに注目したい。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/05/22 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/05/22 (火) 1時限 09:00～10:30 B	フケー『ウンディーネ』	【授業の一般目標】 水の精ウンディーネと結婚した騎士は、やがて別の女性を好きになるが、それは大きな代償を伴うことになる……。あたかもメルヘン的な世界観をベースとしているように聞こえるが、作者の語り口の見事さにより、実はこの作品はおもわずくすりと笑いたくなる場面もあって、大人が読んでも人生の真実が描きこまれているような気になれる小説である。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/05/29 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/05/29 (火) 1時限 09:00～10:30 B	シャミッソー『影をなくした男』	【授業の一般目標】 主人公ペーター・シュレミールは無限の財と引き換えに悪魔に自分の影を売った。それからの彼は、どこへ行っても後ろ指をさされ、つねに陰に隠れて生活しなければならぬ身となる……。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 403教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/06/05 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/05 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ホフマン『砂男』	【授業の一般目標】 主人公の少年ナタナエルは、夕飯の時刻に家に訪ねて来る父の客人が、子供の目に砂をまいて眠らせる砂男であると聞かされて、その正体を確かめようとする。客は弁護士コッペリウス。客は父と錬金術を駆使して人工生命を作ろうとしているのであり、そのために少年の目を必要とする……。現実と妄想の交差に注目したい。 【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。	渡邊 徳明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/05 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/05 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ホフマン『砂男』	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 4 0 3 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/06/12 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/12 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ゲーテ『若きウェルテルの悩み』	<p>【授業の一般目標】 この小説を本授業のラインナップに加えるのは違和感があるかもしれないが、恋の世界に没入する青年ウェルテルの内面世界に対し、それを冷ややかに突き放す現実的な客観描写が作品後半部でなされている。それは近代小説特有の反省的視点であり、ある種の毒々しさが感じられよう。そして、実はこのようにつき放されるナイーブな青年は、前回のホフマン作『砂男』の主人公ナタナエルにおいてパロディー化されているのではないかと、授業担当者は密かに感じている。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる (30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 4 0 3 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/06/19 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/19 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ゲーテ『ファウスト』	<p>【授業の一般目標】 ゲーテが生涯をかけて書いた大作。万能の天才ゲーテは、世界の真髄に触れたいと飽き足らず、ついに悪魔メフィストテレスと契約を結んで旅に出る……。本講義でも扱ったシャミッソーの『影をなくした男』のベーター・シュレミールと当然ながら重なって来るだろう。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる (30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 4 0 3 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/06/26 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/26 (火) 1時限 09:00～10:30 B	映画『カリガリ博士』	<p>【授業の一般目標】 映画史上に残る白黒のサイレント映画。精緻な作りの脚本に驚かされる。毒々しいドイツ文学のテーマを古風に映像化すると、まさにこの映画のようになるだろう。いわゆる表現主義とよばれる芸術思潮を代表する映画とも言え、本講義で扱うフロイトの思想なども踏まえると、その理解は更に深まろう。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる (30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 4 0 3 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p>	渡邊 徳明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/26 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/06/26 (火) 1時限 09:00～10:30 B	映画『カリガリ博士』	【コアカリキュラム】	渡邊 徳明
2018/07/03 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/07/03 (火) 1時限 09:00～10:30 B	トーマス・マン『ヴェニスに死す』	<p>【授業の一般目標】 貴族にまで列せられたドイツの国民的作家は、イタリアの水の都ヴェニスに滞在する。彼がポーランド貴族の少年に恋をし命を落とすまでの、ある意味で喜劇的と言えるかもしれない悲劇。主人公が目にするヴェニスの街の風景は、次第に彼の欲望に沿った姿をとるのであり、それは客観性を失って、主観的イメージが肥大化してゆく過程が投影されたものである。実はそこに『カリガリ博士』との共通点を授業担当者は見出している。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/07/10 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/07/10 (火) 1時限 09:00～10:30 B	カフカ『変身』	<p>【授業の一般目標】 グレゴール・ザムザはある朝目覚めると巨大な虫になっていた。平凡な日常に突如おとずれた異変に対し、なぜか本人も家族もその事態をやむなく受け入れる不気味さ。自らと全く違う姿をしている自らを客体視するというのは、いわゆるアイデンティティーが崩壊してしまった状態なのであるが、自分のイメージする自分を保ち得ない無常なる現代社会に身を置いたとき、そのようなことは起こるのかもしれない。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明
2018/07/17 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2018/07/17 (火) 1時限 09:00～10:30 B	ドイツ文化における「不気味なもの」	<p>【授業の一般目標】 日常の中に突如あらわれる非日常的世界。自分の立場を次の瞬間に客観視する場面展開。理知的には把握しきれない闇の世界。ドイツ文学における、これらの描写について振り返る。これに関連して、フロイトの『不気味なもの』という論稿を紹介したい。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 文学におけるアイロニーについて説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 シラバス・配布物を読んでくる(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 グループ・ディスカッションをする。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 403教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡邊 徳明